

2010年度日本フランス語フランス文学会東北支部大会：於秋田大学

総会議事録

2010年11月13日（土）16時50分～18時00分

議長：熊本 哲也（岩手県立大学）

I. 報告事項

1、各種委員会報告

1) 役員会 大谷尚文支部長より、次の報告があった。

「10月16日に開催された南山大学での役員会での議論の内容は、幹事会のそれと重複するので幹事会報告に譲る。また、次回の学会ニュースの報告を参照されたい。

なお、学会奨励賞が東北支部から推薦した廣松勲氏に決定し、授与は来春の全国大会でおこなわれる。」

2) 幹事会 山本昭彦支部代表幹事より、次の報告があった。

「2009年度第四回幹事会（日時：2010年5月8日、東京大学駒場キャンパス）

春の大会準備のほか、通常のように常任幹事会報告、支部活動報告などが行われ、決算・予算の検討、スタージュについて、フランス語教育学会と協働して進めるフランス語教育実情調査について、支部会費の代理徴収について等が継続して話し合われた（継続審議）。

2010年度第1回幹事会（2010年5月29日、早稲田大学）

学会における総会準備が中心。

2010年度第2回幹事会（2010年9月18日、日仏会館）及び、2010年度第3回幹事会（2010年10月16日、南山大学）

1) CampusFrance 問題：東北支部ML[sjllf-tohoku 21]および[sjllf-tohoku 22]で資料も添えて報告しているので参照されたい。留学希望者に必須として今年から課されたこの制度には問題点もあり、フランス語教育学会と協働し、両学会長名でフランス大使宛に書簡を送ることとした。

2) 支部会費代理徴収問題：本総会一週間ほど前（11月5日）に、幹事長からの文書「支部会費代理徴収問題について〔2010年9月23日付〕」（以下、原案と呼ぶ）を、東北支部会員MLに添付書類として流した[sjllf-tohoku19]。総会当日にはこれを検討資料として配布、代表幹事が説明し、質疑、協議を行った。

3) 語学教育アンケート

前に行われたアンケートとも比較出来るようなアンケートが計画されていることが報告された。ネットも活用し、年内に回答を得て、来年春までには結果を公表の予定。いわゆる

先進国と言われる国々では、高等教育機関において、いわゆる第2、第3外国語を学ぶのが一般的である。このことについてもデータを揃え、各大学等で外国語教育縮小の動きがあった時に反論の資料と出来るよう準備して欲しい、との希望があった。」

3) 支部運営委員会 大谷尚文支部長より、次の報告があった。

「運営委員会は主にメーリングリストにより意見交換と議論を行った。議事決定事項は本総会にて提案されている。」

4) 学会のあり方検討委員会 阿部宏慈委員より以下の報告があった。

「あり方検討委員会は開催されなかった。」

5) 渉外委員会 欠席の齊藤哲也委員に代わり、事前に寄せられていたメモを議長が代読した。

「2010年10月16日(土)9:15-10:45に南山大学名古屋キャンパスにおいて「各種規定類の整備ほか」という議題で申請があった講演会後援(謝金なし)についての審議がなされた。現在渉外委員会では規定類の改定を進めている。謝金申請の方法等については委員会で現在検討中であり、まだ正式には決定していない。委員会として引き続き審議を重ねる方針である。」

6) 語学教育委員会

欠席の磯野暢祐委員に代わり、議長より、支部代表幹事の報告にあったように、語学教育委員会と教育学会が協賛で語学教育の実態調査が行われることが確認された。なお、語学教育委員会に対する要望についての発言が会場からなされた。

7) 資料調査委員会 寺本成彦委員より、次の報告があった。

「去る9月上旬に、cahier 06を発行した。内容は春季大会記録として特別講演1件、ワークショップ5件、および書評5件。現在執筆依頼中の書評は5本で、来年3月刊行を目指すcahier 07に掲載予定。来年3月末日を締め切りとして、引き続き書評対象候補作品を募集している。会員の方々に、積極的な推薦をお願いしたい。推薦の受付メールアドレスは次の通り：cahier_sjllf@yahoo.co.jp」

8) 広報委員会 辻野稔哉委員より、次の報告があった。

「1) 学会ニュースの件：学会ニュースについては、従来本会事務局の常任書記2名の下で作成が行われてきたが、2名が退職され、非常勤の書記1名という体制に変わった為、今年度から基本的には広報委員会が企画・作成する態勢となった。学会での司会やワークショップのコーディネーターの方々には、今後広報委員長から原稿依頼や確認依頼などが行われることになる。執筆要項の遵守や原稿確認など煩瑣なメールなどが届く場合もあるが、広報委員も短期間にチェックや確認などをメーリングリストだけで行う必要があり、奮闘しているので、ご協力をよろしく御願いたい。」

2) 広報委員の任期について：広報委員は原則2期4年というのが通例となっていたが、途中交代などがいろいろあったので、メンバーの入れ替わりをリセットするため、今年度新任者を1期2年の委員と2期4年の委員とに分けた。その結果、辻野は1期2年で、一旦

打ち切りとなるので、来年度の支部大会で新たな委員（2期4年）を選出する必要がある。原則としては、その時の委員（つまり辻野）は再任を避けることになっている。やむを得ず、再任の場合はそこから2期4年を任期とする。」

9) 監査

菊地良夫監査役より、今春6月に監査を行い監査報告書を会員に送付した旨が報告された。

2、支部会誌編集委員会報告

今井勉支部会誌編集責任者より、①a)2010年6月1日支部会ウェブサイト上に『Nord-Est』第3号を掲載したこと、b)今大会発表者の投稿・寄稿に基づく第4号は来年5月のウェブ掲載を目指して作業を進める予定であること、c)6月以降に第3号・第4号合併号冊子版の刊行を予定していること、②支部会誌の投稿規定案と執筆要項案（前編集責任者の阿部宏先生のご尽力によるものに基づき、少しだけ手を入れたもの）を策定したこと、これまで総会での承認を経ていなかった投稿規定について総会の協議により承認をいただきたいこと、③支部会誌『Nord-Est』の副題について、日本語副題を「日本フランス語フランス文学会東北支部会報」、フランス語副題を「Bulletin de la Société Japonaise de Langue et Littérature Françaises du Tohoku」とすることに決定したこと、以上の三点が報告された。

3、東北支部 web サイトについて

後藤尚人支部 web サイト管理者が欠席であったため、議長等により、この間メーリングリストが一時期ダウンしたが復旧したこと、ページの支部大会プログラムの変更が行われたことが報告された。

4、その他

議長により、その他の報告事項はないことが確認された。

II. 協議事項

1、役員・各種委員会委員の選出について

議長が、支部役員・各種委員選出方法について、支部規約の運営細則第1条および第2条を確認した。

1) 支部代表幹事

運営委員会より、改選役員（支部代表幹事）が発表された。運営細則第1条（役員を選任）⑤による立候補がなく、事務局より運営細則第1条④に基づき、以下の候補者を運営委員会決定として推薦する旨提案があった。

【改選役員】支部代表幹事：山本昭彦[2009～2011] →林修[2011～2013]

運営細則第1条⑥に基づき、投票を省略して運営委員会推薦候補を選任した。

2) 運営委員

運営委員会より、改選委員（運営委員）が発表された。運営細則第1条（役員の選任）⑤による立候補がなく、事務局より運営細則第1条④に基づき、以下の候補者を運営委員会決定として推薦する旨提案があった。尚、支部長から候補者へは依頼・承諾済みであることが告げられた。

【改選役員】運営委員：今井勉[2009～2011] →再任[2011～2013]

泉谷安規[2007～2009][2009～2011] →後藤尚人[2011～2013]

熊本哲也[2008～2009][2009～2011] →森田直子[2011～2013]

運営細則第1条⑥に基づき、投票を省略して運営委員会推薦候補を選任した。

3) その他の役員

支部長より、支部規約の運営細則第1条⑨に基づき、以下の役員（委員会委員及び監査）候補者を運営委員会決定として推薦された。

【改選役員】渉外委員：齊藤哲也[2009～2011]→坂巻康司[2011～2013]

【改選役員】学会のあり方検討委員：阿部宏慈[2009～2011] →佐野敦至[2011～2013]

【改選役員】資料調査委員：寺本成彦[2009～2011]→阿部いそみ[2011～2013]

語学教育委員：磯野暢祐 [2010～2012]継続

学会誌編集委員：熊本哲也[2009～2011]→再任[2011～2015]

山崎冬太[2009～2011]任期満了

阿部宏[2010～2011]任期満了

黒岩卓[2011～2015]新任

資料調査委員：中里まき子[2010～2012]継続

広報委員：辻野稔哉 [2010～2012]継続

監査：菊地良夫[2009～2011]→再任[2011～2013]

小林文生[2010～2011]→再任[2011～2013]

以上のとおり承認された。

2、支部会費徴収配分方法について

上記の報告を受けて質疑・協議を行った。

a)人数比の部分、支部会員数は毎年（わずかにせよ）変動がある。これを反映させる必要がある。

b)また、支部の支出実績の部分も、毎年の変動を織り込まなければならないだろうといった質問、指摘、懸念があったが、原則賛成との表明があり、特に反対意見はなかった。ML

の上でも、支持の意見が1つあり、反対意見はなかった。

東北支部では学生会費が1000円値上げとなってしまうこと、また、これについては、支部運営委員会でも相殺できるような対策を考え始めている、との説明を加えた。

幹事会ではいろいろにシミュレーションを行ったが、上記報告にあった2010年9月23日付手紙の幹事長原案がよいと思われること、質問のような細部はこれから詰めること、また配布した資料の数字その通りになるかどうかはなんとも言えないが、基本的な考え方、方針はこれでゆくということを9月の幹事会では話し合っただけであることを説明し、その上で「この原案に賛成するが、最終的には総会での決定に従う」ということにしたいと代表幹事から提案、了承された（全会一致、拍手によって）。

3、支部会誌投稿規定について

支部会誌編集責任者より編集委員会策定による投稿規定案が示され、承認された。第6項のフランス語論文の場合の「A4版15枚（4,800語）以内」という分量規定については執筆要項で文字数×行数の指定を行うことが望ましい旨意見が出され、執筆要項において配慮することを確認した。また、今後、執筆要項の詳細については編集委員会に一任させていただきたい旨編集責任者より希望が述べられ、承認された。

4、来年度支部大会開催校について

議長より、昨年度、石巻専修大学の石巻尚文氏からローテーション以外の開催を希望する旨の発言が承認されたことを確認し、石巻尚文氏から来年度石巻専修大学にて開催されることが報告された。

III. その他

金柿宏典氏より、本会は退会したが東北支部会にだけ加入したい意向の発言があり、向こう10年間の会費を納めたいという希望が述べられ、事務局によって承認された。